

おおむた 市議会だより

第199号

平成28年度
12月議会

平成29年(2017年)2月1日発行

インターネット議会中継配信中
過去の録画*も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成23年度以降



成人式 (1月8日)

【主な記事】

- 意見・要望を市長に提出し、回答を依頼／ぎかいの話題(2ページ)
- 燃えて100年世界に羽ばたくおおむた／おおむた自慢(12ページ)

ぎかいの話題

意見・要望を市長に提出し、回答を依頼

市民の皆様から選挙で選ばれた議員は、様々な場面で皆さんからの意見を伺い、その意見を議会活動や政策判断などの参考にさせていただいています。

その貴重な市民意見などを集約し、このたび、市長に意見・要望を提出し、市議会の総意として下記①と②については、新年度予算案提出時までには、文書での回答を依頼しました。

具体的には、

- ①議会報告会で出された意見・要望を踏まえて9月の決算特別委員会で集約した意見・要望
- ②まちづくり・活性化特別委員会において、まちづくり総合プランに係るものを取りまとめた意見・要望 です。

議会報告会での意見・要望

寒波による断水、熊本地震、大雨による被害など自然災害が頻発したため、報告のテーマを防災中心にしました。

その結果、避難所の運営や要配慮者の把握、情報伝達などの意見が多く出されました。



議会報告会(駿馬地区公民館)

決算特別委員会で合意形成を図った意見・要望

災害時における要配慮者への対応については、庁内で連携した要配慮者名簿の作成を早急に進めるとともに、民生委員・児童委員をはじめ関係団体や事業所等とも協議しながら、地域の状況も反映した現場で活用できる名簿の作成を含め、実態に即した実効性のある仕組みづくりに取り組まれない。

まちづくり・活性化特別委員会で合意形成を図った意見・要望

意見・要望の中で、特に平成29年度予算案及び事業等に反映する必要があるとして、まとめた6点です。

① 子育て支援の方策

- ・保育料等の保護者の負担軽減の継続。
- ・保育士の確保の為に処遇改善の国・県への要望と本市独自の支援策の検討。

② 子どもの医療制度の拡充策

- ・病後児保育事業の堅持と病児保育事業の検討。
- ・小児科の平日夜間診療や休日当番医制度の安定運営。

③ 出合いのサポートに関する施策

- ・総合政策的視点で、市当局の所管の見直しも含め、まちづくりの観点から推進。

④ 学童保育所・クラブについて



天領保育所

- ・学童保育所・クラブに特化したニーズ調査の実施。
- ・利用時間の延長や長期休業時の利用に関する意向など調査項目の精査。

- ・就学前児や全ての小学生を調査の対象とするなど、関係部局間で連携を図りながら広く意見聴取。

⑤ 地域包括支援センターについて

- ・体制強化を図る上でも恒常的な人員確保が求められていると思われることから、さらなる人員の増員。

⑥ 健康いきいきマイレージ事業

- ・その意義や目的が市民や地域、関係団体等に浸透するよう、より一層の周知。
- ・事業内容の充実に努め、事業協力者の賛同も広く得ながら、成果に結びつく魅力ある事業として長く継続できるような取り組みの推進。

本会議運営

空き地及び空家等の適正管理に関する条例を可決

12月議会

平成28年度12月議会は、12月9日に招集され、12月22日までの14日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、9億7,346万4千円を追加する一般会計補正予算、空き地及び空家等の適正管理に関する条例の制定、指定管理者の指定についてなどの議案29件、

意見書案の発議5件の計34件でした。

本会議では、シティプロモーションの推進、RDFセンター、校区まちづくり協議会運営、マイナンバー制度、生活排水対策などの諸課題に12人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議1件を除いた議案、発議をそれぞれ可決、同意して本会議を閉会しました。

議会日誌 (10月~12月)

- 【10月】 11日 都市環境経済委員会
14日 議会報編集委員会
17日 議会改革特別委員会、まちづくり・活性化特別委員会、各派代表者会
28日 まちづくり・活性化特別委員会
- 【11月】 7日 各派代表者会、議会運営委員会
21日 まちづくり・活性化特別委員会
28日 都市環境経済委員会
- 【12月】 2日 各派代表者会、議会運営委員会
5日 都市環境経済委員会
6日 議会改革特別委員会、市民教育厚生委員会
7日 総務委員会
9日 議会運営委員会、第3回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会
15日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、議会運営委員会
16日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕
19日 第3回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
20日 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
22日 各派代表者会、議会運営委員会、第3回定例会本会議〔採決、閉会〕、議会報編集委員会

行政視察受入 (10月~12月)

月	日	都道府県	団体名	視察項目
10	6	北海道	根室市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	11	埼玉県	鴻巣市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	12	岡山県	笠岡市議会	新水道ビジョン
	13	静岡県	掛川市議会	議会運営と議会改革の取り組み
	19	新潟県	三条市議会	新栄町駅前地区再開発事業
	20	北海道	苫小牧市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	25	奈良県	大和郡山市議会	・老朽危険家屋等除却促進事業 ・業務最適化計画
11	26	愛知県	半田市議会	市営住宅
	27	愛知県	愛知県議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	7	東京都	渋谷区議会	大牟田市の保健福祉事業の概要
	9	東京都	国立市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	10	神奈川県	横須賀市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業
	10	埼玉県	ふじみ野市議会 三芳町議会	・地域認知症ケアコミュニティ推進事業 ・空き家を活用した地域包括ケアシステム
	16	埼玉県	久喜市議会	認知症SOSネットワーク模擬訓練
17	兵庫県	西宮市議会	地域認知症ケアコミュニティ推進事業	
12			なし	

委員会メモ

「よくある質問と回答」の充実
【総務委員会】

12月7日の委員会で、市ホームページで公開中の「よくある質問と回答」の分類等をふやし、検索機能を追加することで、必要なときに必要な情報を検索しやすいように充実し、市民サービスの向上を図る旨の説明を受けました。
(29年2月中公開予定)

東京大学と協定を締結
【市民教育厚生委員会】

12月6日の委員会で、「海に親しみ、海を知り、海を守り、海を利用するための海洋教育」の促進を目的として、市教育委員会と東京大学海洋教育促進研究センターの間で、海洋教育拠点としての連携に関する協定が締結された旨の報告を受けました。

空き地、空家の条例制定
【都市環境経済委員会】

12月5日の委員会で、大牟田市空き地及び空家等の適正管理に関する条例を制定する旨の説明を受けました。
この条例は、空き地及び空家等が人の生命、身体又は財産に被害を与えることを防止し、地域の良好な生活環境の保全を図るためのものです。

議会改革特別委員会のあり方を検討

【議会改革特別委員会】

12月6日の委員会で、本特別委員会の今後のあり方の検討案を協議しました。
議会改革・活性化を図る体制の整備の観点から、引き続き検討を行い、3月までには、一定の方向性を示す予定です。

シティプロモーションの現状把握

【まちづくり・活性化特別委員会】

11月21日の委員会で、今後、様々な面から大牟田の魅力の創出・発信は、より一層重要になるとの考えから理解を深めるべく、市のシティプロモーションに関する背景や現状及び戦略のイメージ等の説明を受けました。

議案等の審議結果

議案等名	議員名	自由民主党議員団					公明党議員団					社民・民進・護憲クラブ				日本共産党議員団			無所属				賛成数	審議結果				
		徳永春男	今泉裕人	境公司(議長)	田中正繁	光田茂	森竜子	山口雅夫	大野哲也	今村智津子	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	橋積和雄	北岡あや	高口講治	島野知洋			城後徳太郎	塚本二作	中原誠悟	森遵
発議第21号	東京電力福島原発事故処理費用負担の国民転嫁を中止するよう求める意見書案	×	×	-	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	8	少数否決	
議案第44号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第45号	大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第51号	大牟田市工場立地法地域準則条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	21	多数可決
議案第56号	指定管理者の指定について(手鎌学童保育所)	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	23	全会可決

* 議案第56号については、北岡あや議員を除く。

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わるできません。

下記議案等については全員賛成で可決、同意されました。

議案第38号 平成28年度大牟田市一般会計補正予算

議案第39号 平成28年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算

議案第40号 平成28年度大牟田市介護保険特別会計補正予算

議案第41号 平成28年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算

議案第42号 平成28年度大牟田市水道事業会計補正予算

議案第43号 平成28年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算

議案第46号 大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第47号 大牟田市市長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第48号 大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第49号 大牟田市職員退職手当条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号 大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について

議案第52号 大牟田市障害支援区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第53号 大牟田市空き地及び空家等の適正管理に関する条例の制定について

議案第54号 大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第55号 大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第57号 指定管理者の指定について(駛馬北学童保育所)

議案第58号 指定管理者の指定について(明治学童保育所)

議案第59号 指定管理者の指定について(大牟田市障害者等文化体育施設サン・アビリティーズおおむた)

議案第60号 指定管理者の指定について(大牟田市市民活動等多目的交流施設)

議案第61号 指定管理者の指定について(大牟田文化会館)

議案第62号 指定管理者の指定について(大牟田市立三池カルタ・歴史資料館及び大牟田市立図書館)

議案第63号 指定管理者の指定について(大牟田市立多目的活動施設リフレスおおむた)

議案第64号 指定管理者の指定について(大牟田市延命プール)

議案第65号 市道路線の認定及び廃止について

議案第66号 大牟田市監査委員の選任について〔中原修作氏〕

発議第22号 ホームドアの設置と内方線つき点状ブロックの整備促進を求める意見書案

発議第23号 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書案

発議第24号 安心な社会保障と強い地域経済を構築するための地方財政措置を求める意見書案

発議第25号 R D F 発電事業の終結に当たっての意見書案

公約の達成状況と今後の財政の見通しは



自由民主党議員団
田中 正繁 議員

新費用などの増加も見込まれ、今後も厳しい状況が続くと思われる。アクションプログラムの見直しに合わせて財政計画を見直していく。

た移住フェア、福岡で西日本新聞社が開催した交流フェアなどに参加し、PRを行った。今後、筑後田園都市推進評議会として筑後の暮らしフェアの開催を計画している。

災害時と緊急時対策

市長の政治姿勢

問 公約の達成状況と今後の実現性また職員の意識改革は。

答 市長就任から、まちづくりの推進と市民福祉の向上に全力で取り組んできた。

市政公約に7つの政策を掲げ、まちづくり総合プランや総合戦略を策定し、予算編成では新規事業の創設や既存事業の拡充を図ってきた。次の100年に向け、人口減少に歯どめをかけ、あらゆる世代が成長できるまちを実現できるよう取り組んでいく。

職員の意識改革は、自ら積極的に打って出て、住民の方々へ働きかけていく努力を惜しまない行動と、双方向のコミュニケーションを実践していくことを求めている。

問 今後の財政の見通しを聞きたい。

答 一般会計は、普通交付税の予算割れと相次ぐ災害対応など、財政調整基金を取り崩さざるを得ない非常に厳しい状況にある。高齢化の進展に伴う社会保障費の増加と老朽化した公共施設の維持改修更

問 公共施設を減らしていく中で、学校跡地の利活用についてはどうなっているのか。

答 地域住民の意見等を参考に公共施設の総量抑制、地域防災の観点や新たなまちづくりへの対応、財政計画との整合など様々な視点で検討していく必要があると考える。具体的内容は、整理がついたものから順次示していく。

シティプロモーションの推進

問 現在の進捗状況と今後の進め方はどう考えているか。

答 フェイスブックに大牟田ちょうどよ課、ユーチューブにほっとシティおおむたを開設し、世界遺産や大蛇山まつり等の地域の魅力やまちづくりの情報を積極的に配信している。また、FMたんとは、アプリで地域に関係なく放送を聞くことができる。市制100周年をまたとない機会として積極的に情報発信したい。

問 移住・定住促進のための方策はどう考えているか。

答 市外の方に本市を知ってもらうために、大阪でふるさと回帰支援センターが開催し

問 今年の災害についての所見と、今後の対策を聞きたい。

答 多くの災害に対し、避難所開設の遅れや、情報共有が不十分等様々な課題が明らかになった。避難所の開設基準の見直しや福祉避難所として新たに11法人と協定を締結するとともに、災害対策本部内の連携訓練の実施や企業局の寒波対応マニュアルの見直しも行った。今後、地域防災計画の見直しを検討していく。

問 緊急時における狭隘（狭い）道路対策を聞きたい。

答 消防では、事前に道路状況調査、水利状況の確認を行い、防御計画を作成し火災時の体制に備えている。救急では、救急車が可能なところまで進入し、ストレッチャーまたは布担架等で対応している。



ストレッチャー



布担架

代表質問

将来を見据えた希望あふれる「まちづくり」のビジョンを



公明党議員団
大野 哲也 議員

住民福祉向上のために、
これからも政治家としての判断を

問 市長は、就任から1年を振り返る新聞報道の中で、市長になって考え方が変わったと言われたが、どのように変化したのか。

答 住民福祉の向上という観点は変わらないが、法令や制度の枠内での思考から、必要があれば枠組みを超えても、その実現を模索すべきとの観点に立つようになった。

直接対話を継続し、
安全安心なまちづくりを

問 出前市長室を開催しての成果と課題を聞きたい。

答 市民と直接対話する機会を持てたことや多くの方と熱のこもった意見交換ができたことが成果と考えている。

また、参加者からいただいた御意見や御提案などを課題と捉えて、今後の行政運営に生かしながら取り組んでいきたい。

全職員が協力し、連携して取り
組むシティプロモーション活動を

問 各課の広報担当者の役割

を聞きたい。

答 広報担当者は、課の広報関係を取りまとめる者で、広報の進め方、やり方を主に受け持っている。今後は、シティプロモーションを全職員が行っていく

必要がある、各個人にも認識を再度呼び起こしたい。

再発言 広報担当者というイメージになりがちなので、今後は名前をシティプロモーション推進委員に変更するなどして、広報だけでなく情報発信全体を推進していく各課の担当者という意識づけも大事だと思う。



大牟田市本庁舎

将来を見据えて計画的な
まちづくりのビジョンを示せ

問 本市では今後大きな予算を伴う事業として、総合体育館の建設、市庁舎の耐震、ごみ処理施設、学校再編、中心市街地環境整備、新栄町駅前地区市街地再開発事業などがある。さらには、インフラの老朽化や社会保障費の増大も

予測され、深刻な財源不足が発生する可能性があるが、今後の財政の見通しについて聞きたい。

答 今後も財政状況は非常に厳しい状況が続くのではないかと考えている。

コンパクトなまちづくり
実現への取り組みを

問 都市の姿をコンパクトな方向へというのが課題だが、そのための考え方について聞きたい。

答 医療・福祉施設、商業施設や住居等がまとまって立地し、高齢者をはじめとする住民が公共交通によりこれらの生活利便施設等にアクセスできるなど、福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方で進めていくことが必要と考えている。

高齢者の運転事故に
対する対策を急げ

問 高齢者が運転する車による事故が増加している。このことに対する認識を聞きたい。

答 高齢化率が高い本市における高齢者の運転事故防止は重要な課題と認識している。

再発言 家族等関係者も悩んでいるので、運転免許証の自主返納の支援として、まずは料金助成のような大きな予算がかからない講演会の企画や相談窓口の設置など、アドバイスをする体制づくりを前向きに検討してほしい。

市民の安心安全を守るのは行政の責務



しなかったことから、本市では、支援の受け入れ体制を具体的に定めたマニュアル作成について検討を始めたところである。

本市災害支援と受援計画

問 本市もこれまで多くの被災地支援に行っている。支援先で何をしたいか戸惑ったこと等について、どんなものがあったか聞きたい。

答 熊本地震の被災地支援のために派遣した職員にアンケート調査を行っている。

主なものとして、活動拠点が二転三転するなどといった情報共有の課題、自治体や関係機関の連携がないという課題、支援物資の内容や量が実際のニーズと大きくかけ離れていたという課題が挙がっている。

問 災害時に国や県が機能するまで、あるいは人の生存時間の72時間が重要という中、自治体間の水平連携は有効であり、本市でも友好関係を深めるなど取り組んでもらいたいと思う。

また、本市における受援計画を策定してもらいたい、策定状況等について聞きたい。

答 熊本地震の被災地では、受け入れ体制が整わず、発災直後は外部からの支援が機能

オスプレイ本市上空飛行と市の対応

問 28年12月13日、オスプレイが辺野古周辺に墜落事故を起こした。柳川市長は遺憾の意を表明されたが、市長の思いを聞きたい。

答 今回のニュースを聞いて大変驚いている。まずは原因究明されるべきと考えており、今後も注視していきたい。

問 本市は市民の心配をよそに、県の情報連絡会にも入っていないがなぜか。

答 市が積極的に参加すると、逆に市民の不安をあおると考え、オブザーバーとして参加をした経緯がある。

再発言 本市も県の情報連絡会に入るよう求める。

問 オスプレイに対する相談窓口を設置してはどうか。

答 問い合わせ等については、市の総合政策課で対応する。



オスプレイ

本市の街路灯(防犯灯)の電気代負担

問 どの公民館も高齢化し、防犯灯の維持管理が厳しい。防犯灯の電気代について、市で全額負担できないか。

答 防犯灯の電気代をすべて市で負担することは、これまでの制度の経過等を踏まえると大変厳しい。

現在、電気代の低減につながるLED化を推進するため、他都市の取り組み状況を踏まえ、調査検討を行っている。

東萩尾地区旧海軍防空壕跡

問 東萩尾地区の防空壕は昭和50年頃にエアームタル工法で埋めたとのことであるが、安全性について聞きたい。

答 この工法は流動性や安全性にも非常にすぐれており、現在も多くの工事に利用されている。

再発言 地域住民の不安ははかり知れないものがある。不安払拭に向け、全力で取り組んでいただきたい。

RDF発電事業終了後のごみ処理

問 RDF発電事業の終了に伴い、今後のごみ処理はどうなるのか聞きたい。

答 今のRDFセンターを一定期間継続して使用するか、新たなごみ処理施設を建設するか早急に決定する必要があり、今年度中には結論を出したいと考えている。

代表質問

子どもの貧困は喫緊の課題。実態把握と積極的施策を



日本共産党議員団
北岡 あや 議員

本市の子どもたちの
実態の調査を

問 子どもの貧困の課題についてどう認識しているか。

答 貧困の連鎖が社会的にも大きな課題になっている。すべての子どもたちが生まれ育った環境に左右されず健康ですくすく育ち、十分な教育を受けることができ、地域社会を支える一員として活躍できる社会をつくっていく必要があると考えている。

問 本市における子どもの貧困の実態はどうか。

答 本市独自で相対的貧困率を調査するのは難しい。

しかしながら、相談事業等を通して実態把握に努め、支援が必要な対象者に寄り添っていききたい。

再発言 状況が厳しい人ほど、相談に来ていない、支援につながっていないという実態を知ってほしい。市として実態把握に努めてほしい。

就学援助を受けている子ども
小学生・中学生 1,198名
就学援助率 (14.9%)

スクール
ソーシャル
ワーカーの
体制強化を

問 実態をよく知るスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）の

増員が必要と考えるがどうか。

答 SSWは24年度から配置し、27年度から週三日間の配置へと拡充も行ってきており、SSWの配置の効果は非常に大きいと考えている。

拡充を図るには予算対応も必要となるため、体制等についても十分検討していきたい。

本市のスクールソーシャル
ワーカー

- ◆体制 1人(週3回)
- ◆相談件数 245件(1,541回)
- ◆主な内容
家庭環境・不登校・児童虐待など

非婚のひとり親への
寡婦控除のみなし適用を

問 ひとり親でも、婚姻歴がなければ税法上の優遇措置である寡婦控除が受けられず、保育料や幼稚園就園奨励費補助等に大きな差が生じている。

相対的貧困率が5割を超える中、国に先行して多くの自治体が支援に乗り出している。本市もみなし適用を行うべきと考えるがどうか。

答 制度的な対応が必要と考

えており、寡婦控除のみなし控除について市長会を通じて国へ要望を行っている。

再発言 同じひとり親でも差が生じるのは疑問。制度自体が格差を生み出している。市としての政治判断を要望する。

重度化させない
ヘルパーの役割の重要性

問 要支援1・2の方の訪問介護や通所介護を介護保険から外し、従来より報酬を下げた介護予防・日常生活支援総合事業（以下「総合事業」）が始まったが、介護の質が担保されるのか。また、総合事業に移行する利用者の受け皿は足りているか。

答 高齢化が進み社会保障費が増大していく中で、負担をどう分け合うかが課題。本人の負担が減り、支える側の負担も減るということで総合事業が開始された。これからいろんな課題が出てくると思うが関係者と議論していきたい。

再発言 本人が支払える額により、低額な利用料の総合事業が選択され、受けるサービスが決まることも危惧される。

軽度な方にとっても、重度化しないよう、本人の能力を発揮させ、働きかけながら、日常の変化を見過ごさない高度なコミュニケーションの技術力など、ヘルパーの専門家としての役割は極めて重要。

安易に総合事業へ移行されることなく、介護の質が担保され、本人や家族の意思が尊重される運用を求める。

一般質問



自由民主党議員団
徳永 春男 議員

大牟田の印象における負のイメージ改善は足下から

問 福岡都市圏在住者アンケートの結果で、本市への負のイメージが上位にあるが、通りに地域や樹木の愛称をつけ

てはどうか。

答 本市には、魅力ある景観や並木通り等があり、地域の資源を活用することもイメージアップにつながる。通りへの愛称づけも手法の一つとして、大牟田た〜んとよかこ協議会で協議していきたい。

子ども1人は地元企業へ就職できる環境整備を

問 当事者（学生）及び保護者、就職担当教諭に対する企業情報の周知活動は。

答 市内企業の積極的な情報

提供は、重要と考える。

企業情報の周知は、大牟田マップやパンフ、インターネット、市内高校等の先生方へ企業の見学会等を行っている。

(仮称)食育健やか実践交流会の実施を

問 食育から見た(仮称)実践交流会の実施の必要性は。

答 健康づくりフォーラムにおいて、健康づくりや食育に関する実践発表の場を拡充し、市民の健康寿命の延伸や食育の推進につなげていきたい。



公明党議員団
今村 智津子 議員

年金機能強化法改正による受給資格期間の短縮

問 年金の受給資格期間が25年から10年に短縮される。該当する受給資格者は日本年金機構への申請が必要となるが、

市民への周知方法は。

答 改正により年金の受給権が発生する人については、平成29年2月末から7月にかけて日本年金機構から年金請求書が送付される予定。市としても広報おおむたへ記事を掲載するなど周知を図りたい。

大牟田駅連絡橋の改修

問 計画の概要と今後のスケジュールについて聞きたい。

答 建屋や通路については全面的に改修する。通路の幅員

は現状を確保し、夏場の暑さ対策として風が通り抜けるよう工夫したい。橋げたや橋脚はコスト削減の観点から既存の構造物を活用する。

29年度に詳細設計を行い、30年度に工事着手の予定。九州旅客鉄道への委託工事となり、31年度完成を目指したい。

再発言 JRや西鉄電車の乗降客を含め多くの方が利用される本市の玄関口でもある。計画スケジュールから遅れることなく、一日も早い改修を。



社民・民進・護憲クラブ
森田 義孝 議員

空き地及び空家等の適正管理に関する条例案

問 本議会に提案された空き地及び空家等の適正管理に関する条例案は、空家等対策の推進に関する特別措置法の内

容に基づいて制定されているが、本市の特徴的な内容について聞きたい。

答 本条例は、特別措置法を補完するとともに、いわゆる草刈条例との一本化を図ったもので、雑草に加え、立木の対応を可能とし、公表や緊急安全措置の規定を盛り込むなど実効性のある内容とした。

高齢者の運転免許証自主返納に係る本市の取り組み状況

問 老化による判断力や運動機能の低下が高齢者の交通事

故につながる例が目立ち、警察や自治体は高齢者に対して運転免許証の自主返納を促している。

ただ、自動車は高齢者にとっても移動に欠かせない交通手段であり、なかなか免許を手放せないのが実情である。

高齢者の運転免許証返納における本市の取り組み状況について聞きたい。

答 高齢者の運転免許証自主返納の促進を図るため、現在、新たな支援策について検討を行っている。

一般質問



自由民主党議員団
今泉 裕人 議員

スポーツ・レクリエーションにおける
諏訪公園の遊具と多目的広場整備

問 諏訪公園内の遊具には、老朽化が目立つものもあるが、利用者が安心・安全に利用できるような遊具整備の対応は、

答 今年度から諏訪公園の遊具の更新に着手したところで、今後も段階的に利用者ニーズを踏まえ、安心して安全な遊具の更新に努めていく。

問 諏訪公園多目的広場の芝生は、28年の夏の日照りで、枯れ込み、残念な姿となった。過去には、有名な高校がここでサッカーの練習をした際、芝生管理のすばらしさに感心したとの話がある。

芝生の再生に向けてどう進めるのか聞きたい。

答 枯れた芝生は、29年のG

は全国平均をやや上回る50.4ポイントで、過去3年間ほぼ同じ状況を推移している。

問 学力向上に係る人的支援について聞きたい。

答 県の事業として退職教員を活用し「学力アップ支援員」を小学校18校に各1名派遣している。また、本市の学力ブラッシュアップ推進事業の一つとして、「学習サポーター」を派遣しており、退職教職員や大学生などを活用して実施している。

再発言 今後見込まれる退職

著で、新耐震基準にも適合していない。新体育館には、スポーツ振興はもとより、健康増進やスポーツを通じたコミュニティーの広がり、避難所など今まで以上に市民に愛され、活用される施設となるよう期待しているが、多くの課題もあり、市民の皆さんの合意を得る必要があると考える。

問 財政的な制約の中、理想的な体育館を目指しながら、費用的にコンパクトになるように知恵を集めていくというスタンスで議論を進めてほし

いかどうか。
答 ライフサイクルコストまで含め、全体的な考えの中で整理していく。

交通安全対策の推進における
本市の取組み状況と対応窓口

問 交通安全対策の推進における本市の対応と取り組みは、

答 交通安全運動や交通安全教室の取り組みは、警察署等と連携・協力し実施している。

また、地域の交通危険箇所への要望は、生活安全推進室を窓口として受け付け、警察署と連携し、取り組んでいる。

教職員を積極的に登用するなど、さらなる学校現場への人的支援の検討をお願いしたい。

市民協働のまちづくり

問 職員の町内公民館等の加入率が70%ほどという現状を、どのように捉えているのか。

答 大牟田市協働のまちづくり推進条例では、職員に対して地域活動実践に向けた自己啓発に努めることとしている。

職員の役割と認識、自覚を促していきたい。



無所属
島野 知洋 議員

小中学生の学力向上

問 本市小学生の学力の現状を聞きたい。

答 小学校で毎年実施する標準学力調査では、平成27年度



無所属
森 遵 議員

(仮称) 総合体育館の建設

問 今度の体育館の更新は、新しいものを建てるということでよいか。

答 現体育館は、老朽化が顕

いかどうか。

答 ライフサイクルコストまで含め、全体的な考えの中で整理していく。

問 この機会に、親子リズム体操の専用スペースとして設置予定のキッズルームを大幅に拡充し、子どもたちの体力づくりのための屋内運動場にすることを検討してもらいたいかどうか。

答 基本構想・基本計画策定段階で、市民の意見、市の財政も踏まえ、具体的な規模、機能が固まってくると考える。

一般質問



観光物産振興策の推進とその本気度

問 大牟田の有する観光物産資源は何か。

答 大蛇山を初め、世界文化遺産、動物園、三池カルタ館、

臥龍梅、かすてら饅頭、洋風かつ井、大牟田ラーメンなど数多くある。

問 「大牟田た〜んとよかところ協議会」のビジョンと戦略は何か。

答 11月に同協議会が設立され、その中で協議会の方向性やスケジュールが議論された。現在、構成団体で、短期・中期・長期で取り組むべき内容が整備されている。

問 民間活力を活用し、「大牟田た〜んとよかところ協議会」を発展的に拡充し、大牟田版

DMO*設立の考えはないか。

答 DMOに関しては、同協議会で、今後、議論される課題の一つであると考えている。

問 本市の有する観光物産資源を最大限活かすため、諸施策推進の市長の意気込みは。

答 本市の観光ポテンシャルを最大限活用しながら、大牟田観光協会や「大牟田た〜んとよかところ協議会」などとも連携し、様々な観光振興のための施策を推進し、交流人口の増加による地域経済の活性化につなげたい。

*DMO・・・観光地域づくりの舵取り役を担う専門性の高い組織・機能のことをいう。



学童保育所等の充実に向けた取り組み

問 開所時間の延長についての検討状況は。

答 指定管理者や業務委託者と意見交換を行ってきた。延

長には様々な課題がある。

今後、利用者アンケートを見直し、具体的なニーズ把握と課題の整理を行う予定。

問 利用者だけでなく就学前児童・未利用者の保護者もアンケートの対象にする必要があるのではないか。

答 アンケートの設問をきめ細かくし、具体的なニーズ把握、課題の整理に努めていく。

問 アンケートの対象を拡大した場合、費用はどう違うか。

答 費用は大差ない。配布・回収・分析に手間がかかる。

再発言 延長を希望しているのは利用者だけではない。

現在利用していない人の中にも、必要がないのではなく、現在の開所時間では利用しなくても利用できない人がいる現状がある。開所時間が延びることで、働くことを諦めていた人が働けるようになる。

アンケートの対象が利用者だけでは十分ではない。

アンケートの対象を拡大し、幅広いニーズ把握を行い、開所時間の延長を前向きに検討してもらいたい。

議会を傍聴・視聴してみませんか

市政を監視するのは市議会の役割ですが、その議会を監視するのは有権者である市民の皆さんです。

議会活動を知る方法の一つに傍聴があり、議場の傍聴席で傍聴できます。

議場の傍聴席は、本庁舎玄関からまっすぐに進み、市民生活課奥の階段を上がったところにあります。

視聴については、インターネットでパソコン等から大牟

田市トップページの右側「議会中継はこちら」からご覧ください。

また、市役所北別館1階（期日前投票を行っている場所）の市民ホールのテレビモニターでもご覧いただけます。



市役所北別館1階・市民ホール

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画（平成23年度以降）を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。2月上旬から閲覧できます。ホームページでも2月上旬から閲覧・検索できます。

おおむた自慢



燃えて 100年 世界に羽ばたく おおむた
今年は記念の年 市制100周年を盛り上げましょう

大牟田市制100周年

大牟田市は、平成29年3月1日に市制100周年を迎えます。市庁舎正面に設けられているカウントダウンボードは日々、お祝いの日に向けた機運を高めています。

昨年はプレ事業として、大相撲大牟田場所、NHKのど自慢、出張！なんでも鑑定団などのイベントが開催され、多くの方を楽しませてくれました。



大相撲

NHKのど自慢



記念事業を通して

3月1日のバースデーセレモニーから、一連のイベントがスタートします。当日は市庁舎をライトアップして、雰囲気盛り上げます。同5日は「おおむた・九州うまかもん祭」が開催され、市内だけでなく九州各地のうまかもんが諏訪公園に集結します。

また、イベントだけでなく、「子どもが見る大牟田100年史」や原付バイクの「ご当地ナンバープレート」などが作製される予定です。この大きな節目の年に催されるイベントに、たくさんの方のご参加をお待ちしています。みんなで一緒に、100周年をお祝いしましょう。

これからの主な記念行事

- ◆バースデーセレモニー・・・・・・・・・・3月1日
(大牟田市役所)
- ◆おおむた・九州うまかもん祭・・・・・・・・3月5日
(諏訪公園)
- ◆市制施行100周年記念式典・・・・・・・・7月9日
(大牟田文化会館)
- ◆100キロリレーマラソン・・・・・・・・・・11月26日
(未定)
- ◆市民舞台劇“おおむた”再発見(仮称)・・30年1月28日
(大牟田文化会館)



編集後記

表紙は、成人式としました。成人の誓いでは、親への感謝や社会人としての苦労話、将来に向けての抱負などが述べられました。自分の半生と重ね合わせると、若人の未来は無限大で期待も大きく感じます。同時に、市議会への期待にはどうかと考えさせられ、真に市民の期待に応え得る議会になりたいと思いました。(ヤマドリ)

編集 議会報編集委員会

【委員長】橋積和雄 【副委員長】平嶋慶二
【委員】今泉裕人 大野哲也 島野知洋

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880
E-mail gikajimu01@city.omuta.lg.jp

印刷 株式会社野口印刷所